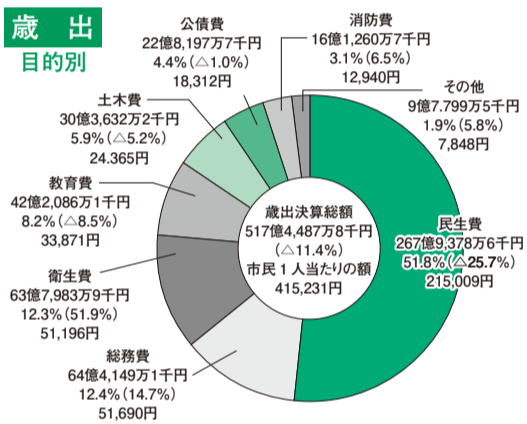
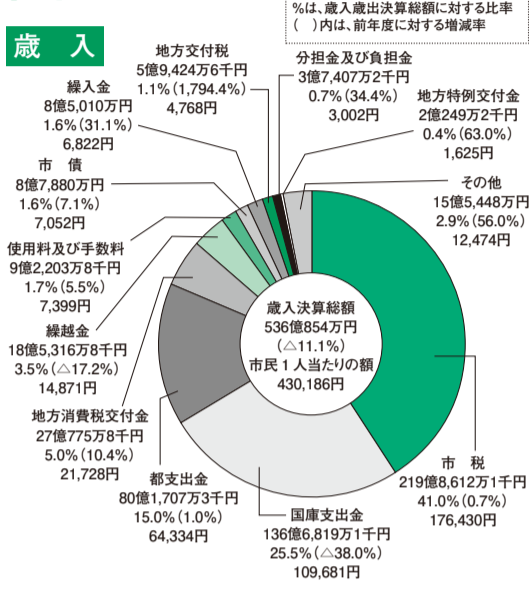


### 令和3年度決算の概要

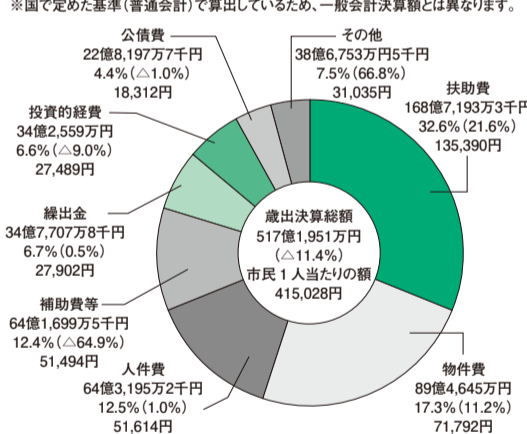
# 「誰一人取り残さない」持続可能で 多様性と包摂性のある社会の実現

## 計画的な行財政運営

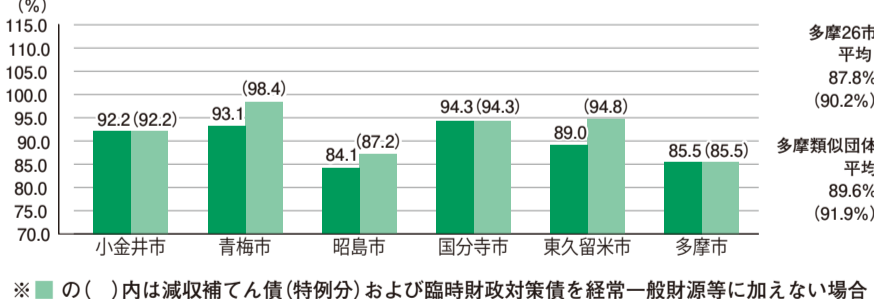
【図A】一般会計決算状況



性質別(普通会計)：地方財政状況調査による



【図B】経常収支比率(多摩類似団体との比較)



※ ( ) 内は減収補てん債(特例分)および臨時財政対策債を経常一般財源等に加えない場合

【表1】特別会計決算状況

区分	当初予算額	補正予算額	最終予算額	歳入決算額	歳出決算額	形式収支
国民健康保険	10,105,218	701,559	10,806,777	10,712,257	10,528,865	183,392
介護保険	8,598,825	182,904	8,781,729	8,716,741	8,615,976	100,765
後期高齢者医療	2,724,005	△ 92,779	2,631,226	2,641,235	2,590,336	50,899
合計	21,428,048	791,684	22,219,732	22,070,233	21,735,177	335,056

【表2】公営企業会計決算状況(単位:千円)

	下水道事業	
	予算額	決算額
収入	2,091,471	2,096,800
支出	2,428,367	2,325,539

### 一般会計

令和3年度は、歳入の根幹となる市税収入は、新型コロナウイルス感染症の影響等により法人市民税が減少となったものの納税義務者数の増等により個人市民税が増となったことにより増となり、また、平成26年度以来の普通交付税交付団体となったことにより地方交付税が増となりましたが、国庫支出金等が減少とな

り、財政調整基金の大幅な取り崩し等に頼った運営となり、厳しい財政状況が続いています。予算規模は、当初予算493億5千万円に17回の補正予算99億102万9千円、繰越事業費繰越財源充当額3千473万4千円を加え、総額52億9千576万3千円でした。これに対する決算額は、歳入総額が536億854万円で前年度対比11・1%の増、歳出総額が517億4千487万8千円で前年度対比11・4%の増となり、経常収支比率は92・2%となり、前年度より0・4ポイントの増となりました。(図A)

主要な財政指標については、人件費比率は12・5%で、前年度から1・6ポイントの増となりました。(図B) 未来への時代の変化が大き

く動き始めた令和3年度は、SDGs達成の観点からも「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現として、東京2020オリンピック・パラリンピック事業の実施、子どもオンラインサービス事業への取り組み、小金井市気候非常事態宣言の発出、循環型都市「ごみゼロタウン小金井」の推進、次世代に引き継げるまちへの誇りや愛着の醸成に取り組んできました。そして、長期化する新型コロナウイルス感染症から、市民生活を守ることを最優先に必要な支援を進めてまいりましたが、延長線上にない世界へと変化が生じており、「ポストコロナ」時代の社会経済に的確に対応し、持続的な成長に向けた基盤の整備を進めることが必要

り、財政調整基金の大幅な取り崩し等に頼った運営となり、厳しい財政状況が続いています。予算規模は、当初予算493億5千万円に17回の補正予算99億102万9千円、繰越事業費繰越財源充当額3千473万4千円を加え、総額52億9千576万3千円でした。これに対する決算額は、歳入総額が536億854万円で前年度対比11・1%の増、歳出総額が517億4千487万8千円で前年度対比11・4%の増となり、経常収支比率は92・2%となり、前年度より0・4ポイントの増となりました。(図A)

主要な財政指標については、人件費比率は12・5%で、前年度から1・6ポイントの増となりました。(図B) 未来への時代の変化が大き

く動き始めた令和3年度は、SDGs達成の観点からも「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現として、東京2020オリンピック・パラリンピック事業の実施、子どもオンラインサービス事業への取り組み、小金井市気候非常事態宣言の発出、循環型都市「ごみゼロタウン小金井」の推進、次世代に引き継げるまちへの誇りや愛着の醸成に取り組んできました。そして、長期化する新型コロナウイルス感染症から、市民生活を守ることを最優先に必要な支援を進めてまいりましたが、延長線上にない世界へと変化が生じており、「ポストコロナ」時代の社会経済に的確に対応し、持続的な成長に向けた基盤の整備を進めることが必要

市では、納めていただいた市税がどのように使われているかなど、財政に関する事項の理解を深めていただくため、定期的(年2回)に財政状況を公表しています。今回お知らせするのは、令和3年度の決算概要および令和4年度上半期(4月1日〜9月30日)の状況です。(6〜8面にも掲載)

「令和3年度小金井市一般会計・特別会計歳入歳出決算書」(一部2千200円)は会計課(市役所第二庁舎1階)で、「令和3年度主要な施策の成果に関する説明書・基金の運用状況に関する調査」(一部千円)は、財政課で販売しています。

なお、令和3年度決算の認定は市議会において現在審査中ですが、決算書等は、図書館本館および情報公開コーナー(市役所第二庁舎6階)でご覧いただけるほか、市ホームページでも公開しています。

問 財政課財政係(市役所本庁舎2階) ☎042-1387-19802

### 【用語説明】

- 【一般財源】市税、地方交付税など、使い道が制限されない収入
- 【経常一般財源等】一般財源のうち、毎年経常的に収入される財源、主に地方税や地方譲与税
- 【形式収支】歳入決算総額から歳出決算総額を単純に差し引いた額
- 【経常収支比率】市税など経常的に入ってくる収入が、義務的で固定的に支出される経費(人件費、扶助費、公債費など)にどれだけ使われているかを示したもの
- 【実質収支】形式収支から、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額
- 【類似団体】都市の態様を決定する要素のうち、人口、産業構造の類似した普通地方公共団体。多摩地区では、速報値によると、青梅市、昭島市、国分寺市、東久留米市、多摩市が本市の類似団体となります
- 【投資的経費】普通建設事業費(道路の新設、学校の建設などの経費)、失業対策事業費、災害復旧事業費をいいます
- 【普通会計】地方財政統計上便宜的に用いられる会計区分で、一般会計のほか、特別会計のうち地方公営事業会計に係るもの以外の会計。他市との財政状況の比較は、この会計の数値で行っています
- 【一般会計】特別会計を含まないすべての歳入、歳出を経理する会計
- 【地方財政状況調査】地方自治法等の規定に基づき、総務省が毎年定期的に行う全国統一基準の普通会計決算の数値を用いた統計調査。地方財政を分析・検討する基礎となります

### 特別会計および公営企業会計

です。したがって、第5次基本構想の将来像「いかそらみどり」増やそう笑顔つなごう人の輪「小金井市」の実現に向け、3つのまちづくりの基本姿勢を念頭に、6つの政策、29の施策、個別の行政計画を推進し、行政評価システムの実施により、分かりやすく、まちづくりを着実に実行してまいります。